



—活動報告—

中東情勢講演会：ガザにおける戦争の現実：中東和平の展望（シアム駐日パレスチナ大使）

9月12日（14:00-15:30）、フォーリン・プレスセンター「会見室」にて、下記のとおり中東情勢講演会を開催しました。

講師：ワリード・アリ・シアム駐日パレスチナ大使  
演題：「ガザにおける戦争の現実：中東和平の展望」

シアム大使によれば、今回のガザでの戦闘によって、ガザの3分の1が完全に破壊されたが、パレスチナ人の中では、戦争を戦い抜いたことで自分たちの自尊心が復活しているとも言われる。その結果、大使はイスラエルに対する抵抗運動への支持が強まりつつあり、今、パレスチナは、新たな抵抗運動を行うか、あるいは中東和平交渉を継続するかを決断する重要な岐路に立っていると指摘された。シアム大使は、パレスチナ内部にも対立があり、その対立をめぐってエジプトの仲介で協議がなされているとした。また日本に対しては、資金援助以上にインフラの管理ノウハウを伝えてもらうことが重要だと指摘した。



◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799